

単元名 5 自らの考えを ー人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 配当時間 3時間

単元の目標 (1) 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討することができる。  
(2) 二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合うことができる。自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書くことができる。  
(3) 積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとする

### 標準的な展開例

12210207\_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 文章の要旨を捉える。 ○学習の見通しをもつ。</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★文章の要旨を捉えよう。 ○二つの文章を通読する。</p> <p>○文章の要旨を捉える。</p> <p>2 観点を決めて文章を比較し、考えを広げる。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★観点を決めて文章を比較し、考えを広げよう。 ○観点を決めて二つの文章を比較し、共通点や相違点を確認する。 ・人工知能に対する立場（賛否） ・取り上げている事例 ・主張 ・語句の選び方や文体の特徴 ○「これからの時代に大切なこと」を考え、グループで討論する。</p> <p>3 自分の考えを文章にまとめる。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★自分の考えを文章にまとめよう。 ○「これからの時代に大切なこと」について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○学習を振り返る。 ・人間と人工知能との関わりについて意見を述べる場合他にどんな立場が考えられるか考える。 ・「批判的に読む」ことは、どういうときに必要だと思うか、自分の考えをまとめる。</p>	<p>・「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>・教師による範読か、国語指導CDを利用して聞かせる。 ・新出漢字や難読語句をチェックさせながら聞かせ、意味を調べさせる。 ・内容の信頼性や客観性を確かめながら、それぞれの要旨を捉えさせる。 ・筆者の意見とその根拠の書かれているところに印を付けさせるとよい。 【評】情報の信頼性を確かめながら要旨を捉える活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <p>・二つの文章を比較し、共通点や相違点を表にまとめさせる。 ・「文章を批判的に読む」(p. 128～p. 129)を参考にさせる。 【評】共通点や相違点をまとめる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・3～4人のグループで行う。 ・筆者の考えに納得できたこと、できなかったことを手がかりに討論し、考えを広げさせる</p> <p>【評】グループで討論し、考えを広げる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・前時で行った討論を基に、「これからの時代に大切なこと」を200字程度で文章にまとめさせる。 ・自分の立場を明確にして、根拠となる文章や事実を引用するなどして、説得力ある意見を書かせる。 【評】自分の意見を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】学習を振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

### 【備 考】

文章を読むときには、内容の信頼性や客観性を吟味し、自分の知識や経験と比べて納得できるか否かを検討して、批判的に読むことが大切である。同じテーマに関する二つの文章を比較しながら、評価することを通して、批判的に読むことを学ばせたい。さらに、自らの考えを批評文として書くことで、説得力ある文章にするための工夫を学ばせたい。多様な考え方の中で対象を評価することで、自分の考えを確立させていきたい。

また、こうした学習と関連させながら、社会的な課題などについて、違う立場からの意見を生かし合い、論理的に合意を形成する話し合いの仕方も学ばせたい。